

南海トラフ巨大地震等への備え —地殻変動を多様な手法で的確に把握—

1. 背景・目的

南海トラフにおいて発生が懸念される巨大海溝型地震である東海・東南海・南海地震は、今後30年以内に発生する確率が非常に高い評価となっており、更にこの3つの地震が連動して発生する可能性があるとされている。これまでもこれらの地域については、東海地震想定震源域を重点として地殻変動観測を実施してきたが、更に東南海・南海地震を含めた3連動地震を踏まえた想定震源域においても、より一層の地殻変動観測を稠密に実施する。

また、これらの想定震源域のほか東日本においても地殻変動観測を継続する。加えて、活動が活発な火山などにおいては、多様な地殻変動観測を実施し地殻変動監視を行なう。

これにより、我が国の防災・減災対策に活用するとともに、国民の安全・安心に貢献する。

2. 事業の概要

東海・東南海・南海地震の想定震源域、火山活動が活発で地殻変動の監視が必要な火山などにおいて、多様な観測手法で地震・火山現象に伴う地殻変動監視の強化を図る。地殻変動は、水準測量による精密な地殻の上下変動、宇宙技術を利用したGNSS測量による水平及び上下変動、光波測距儀による精密な辺長変化の観測などで正確に把握する。また、これらの観測に加えて、火山地域においては、重力・地磁気の観測により地球内部に構造の変化状況を監視する。

観測データ及び解析結果は、地震・火山現象のデータベースに集約し活用することにより、地震・火山現象予測及び解明のための観測研究、新たな観測技術の開発に資するとともに、防災・減災に貢献する。

3. 平成25年度要求額

国費 294百万円

4. 事業の効果

多様な観測によって、地殻変動を詳細かつ広域に把握することにより、地震・火山現象に伴う地殻変動の評価や予測及びメカニズム解明に貢献する。また、地殻変動の状況の変化を的確に把握し、防災・減災情報の基礎資料を提供することにより、国民の安全・安心に貢献できることが期待できる。

(問い合わせ先)

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

国土交通省 国土地理院

測地部 計画課長 飯村 友三郎 029-864-4730

課長補佐 日下 正明 029-864-4731

南海トラフ巨大地震等への備え

—地殻変動を多様な観測手法で把握—

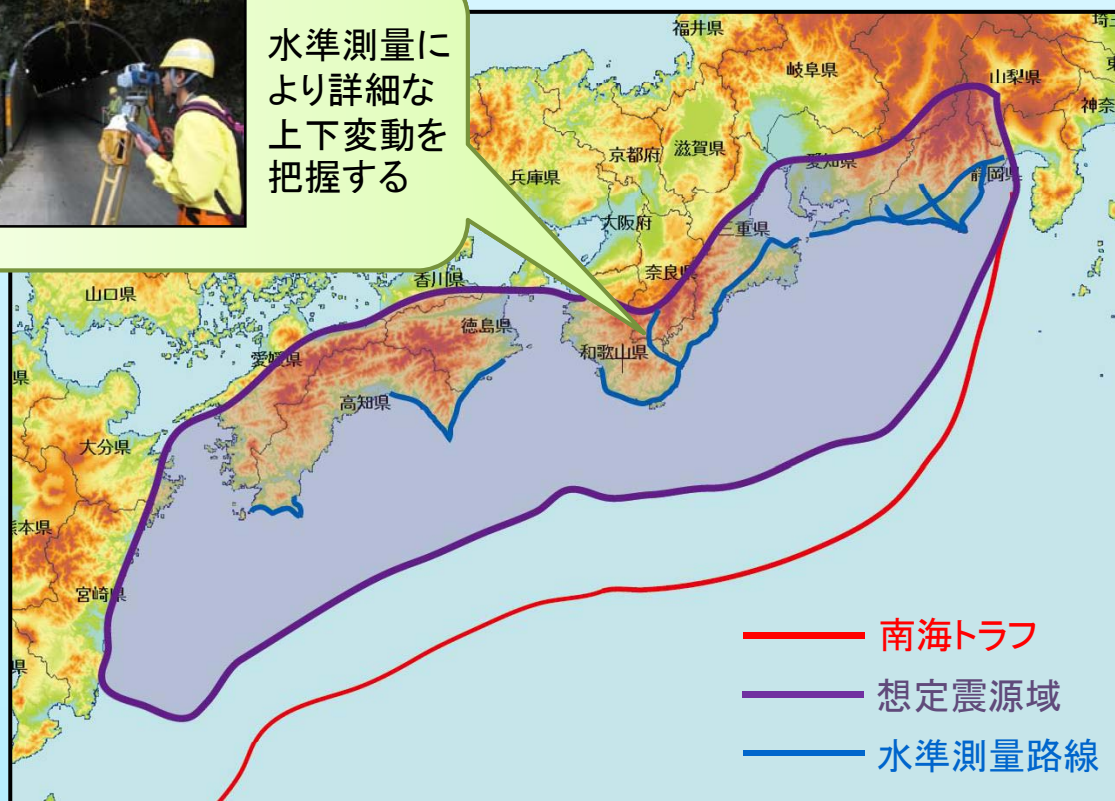
地震・火山活動による地殻変動を捉える

南海トラフにおいて発生が懸念される東海・東南海・南海地震の想定震源域、活動が活発な火山等において、水準測量、GNSS測量、辺長測量等の多様な観測手法で地殻変動観測を実施し、地殻変動を的確に把握する。

特に、南海トラフで発生する東海・東南海・南海地震の想定震源域については、上下変動の観測を強化し、地殻変動の変化を詳細に把握する。



水準測量により詳細な上下変動を把握する



南海トラフによる巨大地震想定震源域と観測地域

効果

◆ 地殻変動の状況を様々な手法で的確に把握することにより、国民に対して迅速で正確な防災・減災情報を伝えることが可能

◆ 地殻変動観測により地震・火山噴火から国民の生命・財産を守り、安全・安心に貢献